

H22補正

# 優れた性能と安全性の高い接着剤を医療の現場に!!

株式会社ビーエムジー、国立大学法人京都大学

## 医療現場でのニーズと課題

- 外科手術では、通常の止血処置で対応できない場合の補助手段に、フィブリン糊が使用されている。(市場占有率90%以上)
- フィブリン糊はヒト血液を原料にするため、感染症のリスクを0にすることはできない。また、使用時の調合が必要で、調製に手間がかかる。
- 医療用接着剤には、有効性だけでなく高い安全性が求められている。

## フィブリン糊に代わる感染症リスクがなく優れた性能と安全性を目指して

- 非血液・非動物由来の医薬品原料等を使用することで、ウイルス感染のリスクがなく、安全性を有する医療用接着剤を開発。
- 使用時の調製が不要で、室温で長期間安定(3年間)な粉剤タイプ。
- フィブリン糊の1.5倍の接着力を実現。
- PMDAからの助言により動物を用いた非臨床試験にて安全性を立証。
- 処方最適化で新たな用途開発が可能。

## 株式会社ビーエムジー:会社紹介・事業展開

当社はゲンゼと共同で国産初の生体吸収性PGA縫合糸を開発して以来、日本の医用生体材料の開発・製造をリードしてきた。その高度な高分子技術を応用して、大手医療機器会社をパートナーとし共同開発を推進する。事業体制は、大手医療機器会社が製造販売承認の取得、事業展開を担当し、ビーエムジーは製造業許可を受け製造を担当する。

### 粉剤タイプ

